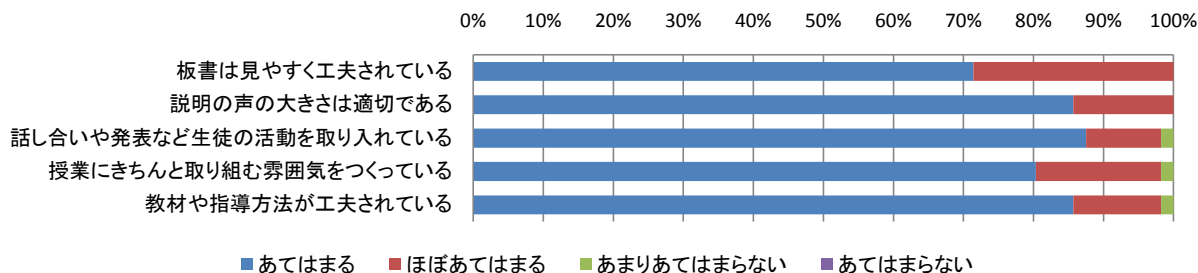


H30年度 第2学期 生徒授業評価アンケートより

| | | | |
|----|----|------|---|
| 教科 | 理科 | 重点目標 | ・観察や実験を通して、自然の事物や現象についての問題を科学的に理解し、解決するための能力や資質を養う。 |
|----|----|------|---|

学習指導に関する現状と課題(二学期・生徒による授業評価アンケートより)

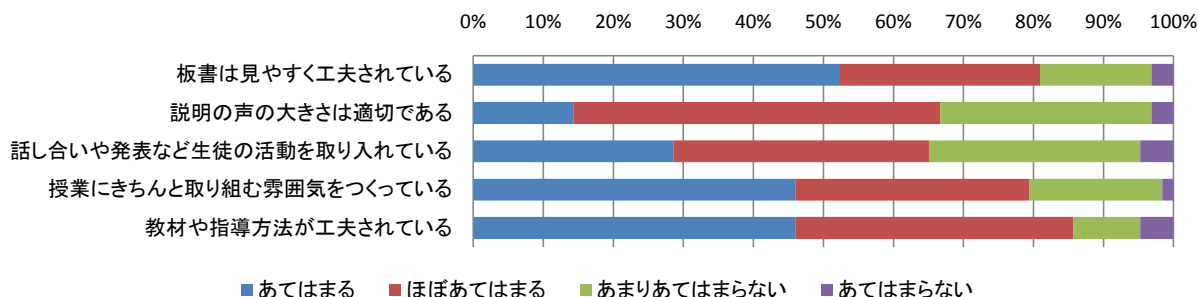
1年 理科



分析

- ・1学期に比べてすべての項目で、「あてはまる」が増えた。
- ・板書の時間を減らせるように理科ノートとプリントを上手く活用し、板書時間を減らして生徒たちが活動する時間を多く確保できたことが要因と考えられるので、3学期も生徒達が実際に体験したり活動する時間を多く確保していく。
- ・ICTを活用したパワーポイントの板書では華美なフォントを避けシンプルな作りになっているが、強調する部分はしっかりと強調するようにし、板書の工夫をしていく。
- ・なるべく実生活とリンクできるような教材を選び、生徒達が興味を示し理解しやすい授業作りをしていく。
- ・体験だけでなく、体験したことから何を学び取ったのかを振り返る時間を確保し、深い学びへとつなげる。

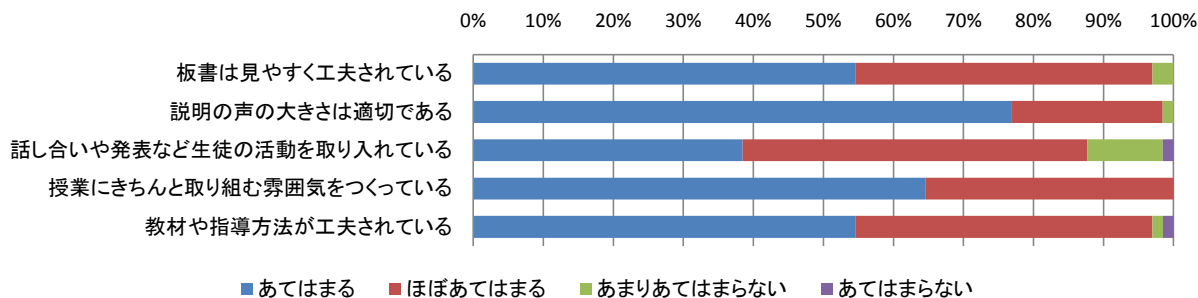
2年 理科



分析

- ・1学期に比べ、「あてはまる」、「ほぼあてはまる」を合わせた肯定的な回答が減ってしまった。
- ・「話し合い」の前段階の自分で考えるというところがうまく指導できなかった。
- ・生徒からの個々の質問に丁寧に答え過ぎてしまい、全体の流れが止まってしまった。休み時間や放課後の時間をうまく使っていきたい。
- ・「化学変化と原子・分子」、「電流とその利用」と難しい単元をだったが教材や指導方法を生徒にあわせながらすすめてきた。映像や模型などさらに改善していく。

3年 理科



分析

- ・すべての項目で「あてはまる」、「ほぼあてはまる」がほぼ85%を超えており、1学期より5%下がってはいるが、生徒は、授業をほぼ満足して受けられていると考える。
- ・「あてはまる」の項目で考えた場合、「話し合いや発表などの活動を取り入れる」が特に課題としてあげられる。今学期は、話し合いや発表の機会が減ってしまった。毎回の授業で、生徒の話し合いや発表などの活動を入れていきたい。